

事務事業名	深谷温泉管理事業	所属部	産業観光部	所属課	産業施設課	
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	産業施設グループ	
	施策名	〈36〉観光の振興		課長名	飯島 昭	
	目的: 対象	A)市外の人 B)市民	意	A)市内で観光を楽しんでもらい、消費してもらう。 B)観光情報を発信する。	電話番号	0854-40-1093 (内線) 2421
	担当者名	落合直久		予算科目	会計 款 大事業 大事業 0:1 3:5 0:1 項 目 中事業 中事業 0:5 2:0 1:3	
基本事業名	〈107〉受け入れ施設の充実			観光施設管理事業		
目的: 対象	観光客	意	観光施設を利用できる。		深谷温泉管理事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 雲南市の活性化を図り、地域間交流を促進する拠点に資するとともに、市民の健康づくり、交流及び憩いの場として設置した施設。温泉、和室等の施設管理運営 ・指定管理業務 ・借地料支払
③ 指定管理者制度導入施設	指定管理者 深谷温泉振興対策協議会 指定管理期間 平成30年4月1日～令和3年3月31日 (3年間)※最終年度

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R2年度実績 (R2年度に行った主な活動)	R3年度計画 (R3年度に計画する主な活動)			
		①指定管理者との年度協定締結 ②指定管理料支払い ③各月利用状況報告受理 ④モニタリング実施 ⑤施設用地借地料支払い	①指定管理者との基本協定及び年度協定の締結 ②指定管理料の支払い ③各月利用状況報告受理 ④モニタリング実施 ⑤施設用地借地料の支払い			
	② 活動指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
	ア 負担行為件数	件	6	4	4	2
	イ 支出命令件数	件	9	7	8	5
	ウ 修繕件数	件	1	0	0	0
	エ 委託件数	件	1	1	1	1

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
	①市民 ②市外からの入込客	ア 日本の人口	千人	126,443	125,773	125,325	124,836
		イ 人口【国勢調査(推計)】	人	37,012	36,248	36,024	35,818
		ウ 観光入込客数	万人	129.8	145.7	98.6	136.0
② 意図 (対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)	
①②利用できる	ア 利用者数	人	9,177	9,810	7,512	9,800	
	イ 総体的な売上	千円	2,224	2,372	1,837	2,300	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (2年度決算)	② コストの推移	単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)
【指定管理料】4,522千円 【賃借料】30千円 【手数料】144千円 【工事請負費】5,830千円 【合計】10,526千円	事業費内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	8,011	4,707	10,526
		事業費計 (A)	千円	8,011	4,707	10,526
	人件費	正規職員従事人数	人	3	2	2
		延べ業務時間	時間	120	100	220
		人件費計 (B)	千円	520	424	926
		トータルコスト(A)+(B)	千円	8,531	5,131	11,452

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・H6年4月のオープン以来、年間10,000人以上の利用者で推移していたが、固定客はあるものの、近年9,000人前後となっている。 ・県道の一部改良と高速道路の開通により一段とアクセスが向上したため、県外からの利用者も一方で近隣からの利用者が少なくなっている。 ・新型コロナウイルス(COVID-19)による影響がある。	・H18年度から指定管理者制度を導入。 ・H22年度に泉源修繕、H30年度に合併浄化槽接続。 ・H29年度の組織機構改革によって、総合センター事業管理課から産業観光部産業施設課に集約、所管変更した。	・利用者から自然豊かな山あいの中で、小川のせせらぎと野鳥のさえずりを聞きながら四季の景色が楽しめる人気がある。 ・利用者からふかたに荘内のフリーマーケット用品の整理されると良いとの意見があった。

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒	見直し余地があるとする理由	
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である *余地がある場合⇒		
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒		
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 理由	素朴な雰囲気を楽しむ人で賑わっている。施設のにも入り込み客の増加はできない。合併浄化槽を設置することで適正な施設管理が可能となる。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由	深谷温泉のリピーターは県内外にも多く、廃止すれば観光入込客数が激減する。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる (具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由	深谷温泉は独特のイメージがあり愛好されているので、他の施設とは統合できない。	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由	現在、最低限の経費で維持管理を行っているが、燃料費の高騰によりむしろ増額すべき点もある。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由	指定管理のためこれ以上の削減余地はない。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由	市有施設であり、指定管理することは公平・公正といえる。	
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		